

伊豆下田

TRAVEL GUIDE of SHIMODA CITY



Shimoda City
Shizuoka Prefecture

静岡県 下田市

無料

発行元：静岡県下田市 編集：一般社団法人下田市観光協会 (お問合せ Tel.05558-22-1531) 2025年7月発行



豊かな自然と 開国の歴史にあふれた 下田によろこそ。

一年を通じて温暖な気候は、四季折々の花を育てます。

白い砂浜と鮮やかな青のコントラストが生み出す浜辺は

眩いばかりに美しい光景です。

古くから人々が往来した港町下田。

1854年には米国ペリー提督率いる黒船艦隊が

下田港に停泊、わが国最初の開港場となりました。

下田の街中には、当時を物語る史跡が残され、

白と黒の格子柄が目を引きなまこ壁は、下田独特の雰囲気

醸し出しています。開国ロマンあふれ、南国情緒豊かな下田で、

開放感いっぱいの休日をお過ごしください。



その海の美しさに 時代を超えて魅了される

「変化に富んだ風景は美しい」――
幕末に米国艦隊を率いて下田を訪れたペリーは、
『ペリー艦隊日本遠征記』のなかで、下田の海をこのように称賛しました。
いつの時代も人々に感動を与え続ける海は下田の誇りです。
エメラルドグリーンに輝くこの美しい風景を皆さんの心の思い出に。
最高のヴァカンスをお過ごしください。



弓状の湾に白波が寄せる外浦海岸

水質最高ランクの 10のビーチ

約30km続く複雑な地形の海岸には、水質最高ランクの
ビーチが10あります。大小それぞれで個性的なビーチは、
海水浴やマリンスポーツはもちろん、波打ち際を散歩し
たり、ビーチベットの寝そべって読書をするなど、思い思
いのスタイルで楽しむことができます。



真っ白な砂浜が続く白浜中央海岸



坂道の下に広がる九十浜海岸

夏だけではもったいない マリニアクティビティ

最高の海のロケーションで、一年を通して釣りやサー
フィン、シーカヤックなどのマリニアクティビティをお
楽しみいただけます。下田市では自然体験案内所「しくも
ん」を開設。公式サイトのほか、道の駅の案内窓口で各
種プログラムのご案内をしています。



自然の偉大さに圧倒される
大迫力の火山地形



真上から光が射し込み、幻想的な空間体験ができる龍宮窟



恵比須島

橋で渡ることができる周囲約 400m の小さな島です。島を一周する遊歩道には、軽石や火山灰が作る美しい縞模様や、荒々しい水底土石流など、太古の海底火山の名残があります。地殻変動によって少し傾いた地層は、遊歩道に沿って次々と姿を変え、ジオ散歩を楽しむことができます。また、島のまわりにある磯遊びスポットの千畳敷は、現在も地殻変動が続いている現れでもあります。



爪木崎の俵磯

灯台が建つ爪木崎西側の海岸に、柱状の岩が整然と積み重なった俵磯が広がっています。この柱のような岩は柱状節理と呼ばれ、マグマや溶岩が冷え固まる時に体積が縮むためにできるものです。岬から見下ろす他、俵磯の上を直接歩くこともできます。



サンドスキー場

強風によって吹き寄せられた砂が積み上がってできた傾斜 30 度ほどある天然のサンドスキー場。ソリは田牛の民宿で貸し出しています。龍宮窟のすぐ隣にあるので、併せてお立ち寄りください。



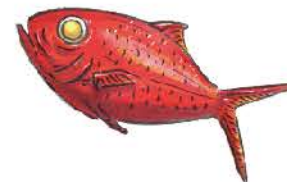
龍宮窟

直径 50m ほどの天窓が広がる洞窟です。上部には洞窟内を見下ろす遊歩道が整備されていて、一周歩くことができます。天窓を見下ろすとハート型の地形に見えるため、ラブパワースポットとして、カップルを中心に人気があります。

ユネスコ世界ジオパークに認定された伊豆半島。下田にも地質学的にみて国際的な価値のあるサイトが点在しています。その迫力は現地でしか体験することができません。自然が作り出した造形美。その神秘的な美しさをぜひ、実際に目の当たりにしてください。

※ジオパークは地球活動の遺産を見所とする自然の中の公園を意味します。日本には伊豆半島を含め、糸魚川、阿蘇、島原半島など、9 地域が世界ジオパークに、46 地域が日本ジオパークに認定されています。(2022 年 1 月現在)

海街グルメを 召し上がれ



豊かな海から捕れる魚介類は、食の街下田の代表的な特産品です。なかでも真っ赤な魚体の金目鯛は日本一の水揚げ量を誇り、市内の宿や飲食店などで食べることができます。地元では金目鯛のことを「キンメ」という愛称で呼び、刺身や煮付け、干物などで食べられています。



金目鯛の煮付けは、最も人気のある金目鯛グルメの一つです。その煮汁をご飯にかけて食べるのがオススメです

日本一だからこそ味わえる 多彩な金目鯛グルメ

日本一の水揚げ量を誇るだけに、金目鯛を味わえるお店は市内に多くあります。刺身や煮付け、寿司などの和食はもちろん、ラーメン、ハンバーガー、コロッケなど、さまざまジャンルで金目鯛を楽しむことができます。

金目鯛だけじゃない 海町グルメ紹介

豊富な海の恵みは、もちろん金目鯛だけではありません。海の町ならではのグルメをご紹介します。市内の宿泊施設や食事処などでぜひ、ご賞味ください。



下田の魚市場に水揚げされる金目鯛。真っ赤な魚体がキラキラと美しい光景です ※市場の見学は要問合せ



伊勢海老

毎年9月に解禁し、5月まで行われる伊勢海老漁。生簀がある店では通年食べることができます。刺身や天ぷらなどの和食のほか、洋食や中華でも食べられます。



ところてん

最高品質と呼ばれている下田の天草は、ところてんの原料です。濁りのないクリアな色とぶるぶるとした食感は爽やかな美味しさ。酢醤油や黒蜜でお召し上がりください。



サザエ・あわび

豊富な海藻を食べ、波にもまれて育つ貝類は独特の香りと濃厚な味わいが特徴です。刺身や磯焼きはもちろん、から揚げ、ステーキなどもオススメです。



サンマ寿し

主に白浜地域で作られる伝統料理です。本格的な秋の到来を告げる脂のった新サンマで作られますが、現在では秋から春にかけて、市内各所で販売されています。



こちらも注目!!

国際カジキ釣り大会 & カジキグルメ

下田・伊豆諸島は昔からカジキの釣り場で、かつてはカジキ漁で栄えた町でもあります。国際カジキ釣り大会は、そんな漁師町の伝統を受け継ぐ大会で、開催40回以上の歴史があります。また、市内の料理店では、カジキを使用した和・洋・中など多様なグルメが楽しめます。



SHIMODA TOWN WALKING



年表で見る下田開国史

- 1854 (嘉永7年) 下田と箱館が開港される。ペリー艦隊が下田へ入港。吉田松陰・金子重輔が米艦に便乗渡来を要請して拒否される。ペリーが上陸し、了仙寺において日本全権林大学頭等と対面する。
- 1855 (安政3年) 日米和親条約付録下田条約が結ばれる。ロシア提督ブチャーチンが下田に入港。ブチャーチンが川路聖謨等と福泉寺で対面。
- 1856 (安政4年) 長楽寺で日露和親条約が調印される。駐日米総領事ハリス、通訳官ビュースケン等が下田に上陸。玉泉寺に日本最初の米国旗が翻る。
- 1857 (安政5年) 下田奉行がお吉をハリスのもとに送る。ハリス、下田協約9ヶ条を締結する。
- 1858 (安政6年) 日米修好通商協約調印。
- 1859 (安政7年) ハリス、ビュースケンがミシシッピ号にて下田を去り、横浜開港へ。玉泉寺総領事館閉鎖。下田開港場は閉鎖となる。

※現在の面館と同じ



©了仙寺

04 まち歩き TOWN WALKING

レトロな街並みで 史跡めぐり

江戸時代、下田は「出船入船3000艘」といわれ、東西を往復する船の風待ちや避難の寄港地として、繁栄しました。そのため様々な文化が交錯し、今もなお往時の面影を見ることが出来ます。現在ではガス灯と柳の木が並ぶペリーロード、白と黒のコントラストが目引くなまこ壁の古民家などがその面影を伝えます。



ペリー艦隊は現在のペリーロードを通り、了仙寺境内に並び調練をしました

ペリーロード

ペリー率いる米国艦隊は下田に上陸した場所（現在の上陸碑）から、条約締結の交渉を行った了仙寺までの通りを歩きました。現在、その通りはペリーロードとして観光スポットとなっています。平滑川に沿ったペリーロードには柳の並木が続き、伊豆石造りの蔵やなまこ壁の古民家を利用したお洒落な店が並びます。



昭和初期のペリーロード。当時は土の道でした



街中レトロエリア

白と黒の格子柄が特徴的ななまこ壁の古民家が点在する街中エリア。老舗の飲食店が点在したり、昔ながらの干物屋さんが軒を連ねたり、港町情緒がそこかしこに感じられます。



食べ歩き & レトロ喫茶巡り

まち歩きに欠かせないのが食べ歩き。街中には老舗の和菓子屋さんや喫茶店がいっぱい。下田銘菓を頬張りながら名所を巡って、レトロな喫茶店で一休みが下田街中散策の王道。自分好みのお店をたくさん見つけてみてください。



喫茶の名物メニューで大満足

鍋田浜・大浦エリア

街中から一山越えるとある海岸エリアです。小さな入江は江戸時代に御番所がありました。街中散策と一緒にビーチを楽めるのも下田ならではの、少し足をのばしてみてください。



下田駅周辺エリア

駅前ロータリーを中心に土産店が立ち並びます。ロータリーを出て真っ直ぐ行くと下田湾の絶景が楽しめる下田ロープウェイの発車駅がお出迎え。



大川端エリア

稲生沢川河口に漁船やクルーザーが停泊する大川端。約500mほど続く荷揚げ場は自由に行き来することができます。港町の風情をお楽しみください。



足湯でちょっと休憩



ペリーロードエリア

街中の人気観光スポット「ペリーロード」を中心に日米和親条約付録下田条約が締結された了仙寺や、日露和親条約が締結された長楽寺などの史跡があるのはこのエリア。撮影したくなるポイントにあふれた雰囲気のある石畳の小径です。



魚市場で真っ赤な金目鯛が水揚げされる様子を見られるかも



2階には開放的な広いデッキがある道の駅

道の駅周辺エリア

地産品の販売や飲食も楽しめる道の駅があるエリア。エリア内には黒船を模した遊覧船が湾内を航行しています。道の駅の目の前には魚市場があり、金目鯛をはじめとした地魚が水揚げされています。

柿崎エリア

日本最初の米国総領事館が開設された玉泉寺をはじめ、吉田松陰ゆかりの史跡や銅像などがあり、柿崎からまどが浜海遊園まで舗装された遊歩道は、「松陰の小径」と名付けられています。



海沿いに続く松陰の小径

下田湾周辺の散策スポット

ペリー艦隊が来航した下田湾を中心に、周辺エリアは歩いて楽しめる散策スポットがいっぱい。それぞれのエリアの個性を感じながら巡ってみてください。



ぎよくせんじ
玉泉寺

1854年(安政元年)に黒船が下田港に入港、同年5月に日米和親条約付録下田条約が結ばれると、玉泉寺は米人休息所・埋葬所に指定されます。さらにハリスが来日した1856年(安政3)に日本最初のアメリカ領事館が玉泉寺に開設されました。日本の歴史において重要な寺であることから国指定史跡となっています。境内にある「ハリス記念館」にはハリスの遺品の数々、ペリー黒船関連資料、日本最古の銀板写真、飯塚珍児画伯の黒船来航図(20点)等を展示しています。



『ペリー日本遠征記』に描かれたペリー艦隊が上陸した時の様子



ペリー艦隊上陸記念碑

1854年(嘉永7)、日米和親条約締結により、即時開港となった下田港。この記念碑が建つ地にペリー率いる米国艦隊が上陸しました。この碑が下田が開国の街であることの証となっています。

**開国の歴史の舞台は
史跡がいっぱい**

1854年(嘉永7)、日米和親条約の締結により、ペリー艦隊率いる米国海軍が来航して、下田の開国の歴史が始まりました。市内には今でも当時の歴史を伝える品々や史跡が多く残っています。ペリーやハリス、吉田松陰、勝海舟…。歴史上の著名人が歩いたことに思い馳せながら巡ってみてください。



しもおかれんじょう
下岡蓮杖胸像と顕彰碑

日本写真術の開祖の一人とされる下岡蓮杖は下田出身の偉人です。横浜でアメリカ人写真家ウィルソンからカメラを入手、文久2年(1862年)に写真館を開業しました。現在、下田公園には胸像と波沢栄一筆で書かれた顕彰碑が建てられています。



しげのすけとうかい
吉田松陰・金子重輔踏海の朝碑

黒船に乗って密航しようと試みた2人を表現した像が弁天島に建っています。また、弁天島には密航の前に潜んでいたとされる弁天祠や吉田松陰の自筆の字が掘られた七生説の碑があり、吉田松陰ゆかりの地として、今もなお多くの歴史ファンが訪れています。



ほうふくじ
宝福寺

1854年、日米和親交渉にあたり日本全権の本陣となり、下田奉行所が置かれた寺です。それより以前、滞在中の土佐藩15代藩主・山内容堂に勝海舟が謁見し、坂本龍馬の脱藩の罪の許しを乞い、許された寺としても知られています。



りょうせんじ
了仙寺

ペリーと日本全権が日米和親条約付録下田条約を結んだ寺で、国指定史跡となっています。本堂はその当時のもの。ここでペリーが条約締結の交渉を行った歴史の舞台です。境内にある「黒船ミュージアム」のテーマは「日本人が見た外国、外国人が見た日本」。所蔵品の中には外国人が描いた日本人の絵や、日本人が描いた外国人の顔などの絵が豊富に所蔵されています。



黒船祭

**昭和9年から続く
国際親善イベント**

開国の舞台となった下田。その功績を後世に伝え、国際親善に貢献するために昭和9年に始まった黒船祭。記念式典や墓前祭が賑かに行われる一方で、町内や海辺の会場では活気にあふれたイベントが目白押しです。

期間 毎年5月
第3土曜日を含む
金・土・日曜日



公式パレード



米海軍主催墓前祭



再現劇「下田条約調印」



海上花火大会



ちょうらくじ
長楽寺

1854年(安政元年)、ロシア使節海軍中将ブチャーチンとの交渉の末、日露和親条約が調印され、翌年、日米和親条約の批准書交換が行われたお寺です。



下田開国博物館

令和5年にリニューアルオープン。黒船来航により日本で最初に港が開かれたまち「下田」の記念博物館。ペリー艦隊、ロシア使節ブチャーチンや吉田松陰などのゆかりの品々、開国の歴史を数多くの資料とともに紹介しています。また郷土の歴史についても展示がありますので、江戸時代からの古く長い下田の歴史に幅広く触れることができます。





下田海中水族館

自然の入り江を利用した水族館。館内では伊豆の海の中を表現した水槽「アクアドームベリー号」やイルカやアシカなどのショー、季節によって変わる海の仲間の展示など、楽しさいっぱい。また、イルカに直接エサをあげたり、握手ができるドルフィンフィーディングやイルカが頭上をジャンプするアメージングシートは人気のプログラムです。



黒船遊覧船

ベリー艦隊が下田に入港した際に乗っていた黒船を模した遊覧船で、一周20分の下田港クルージング。船内ではアナウンスにより、下田の歴史や観光のご案内をしています。



上原美術館

下田の北の山間に建つ美術館。印象派から鎌倉時代の仏像まで、近代絵画と仏教美術のジャンルを超えた美を紹介しています。コレクションを中心とした企画展を開催する他、平安・鎌倉時代の仏像から、奈良時代の古写経、近現代の仏像まで幅広い仏教美術を展示しています。



市内にはその自然環境や歴史を生かした観光施設、文化施設があります。下田に
来航したベリーの気分になれる黒船遊覧船、下田湾の絶景に出会える下田ロープ
ウェイ、伊豆の海の中をのぞける下田海中水族館、山間の静かな環境で美術品と
向き合える上原美術館、そのどれもが下田でしかできない体験です。



自然、歴史、文化を通して 下田だけの体験を

下田ロープウェイ

ロープウェイに乗って絶景と縁結びの名所「寝姿山」へ。山頂は四季折々の花が咲く公園になっています。園内の縁結びのご利益がある愛染堂ではハート型の絵馬が販売され人気です。山頂駅のレストラン「THE ROYAL HOUSE」では、こだわりのグルメもお楽しみいただけます。





豊富な湯量を誇る下田温泉。古くから地元民の日常に温泉はありました。今では宿泊施設はもちろん、市内の各所に足湯が設けられ、気軽に温泉に触れることができます。

07
温泉
ONSEN

選べる温泉でゆったりと
至福の時間を過ごす



06
夜
NIGHT

市街地の夜ブラと
壮大な星空観察

市街地は食事処や居酒屋がいっぱい。地元料理に舌鼓を打ちながら、ときには地元客と語らうのも一興。街を抜け出せば、月や星空を観賞できるスポットがいくつもあります。下田ならではの夜時間をお楽しみください。



月が出る夜に海面で輝くムーンロードは幻想的。白浜大浜にて



灯台の建つ爪木崎は定番の夜景スポット。太平洋の夜空に無数の星が輝く



ガス灯の光が石畳の通りを照らすペリーロード。通り沿いの飲食店からは楽しい声が漏れ聞こえます



水仙まつり

【期間】毎年 12/20~1/31

岬の斜面を覆い尽くす約300万本の野水仙。辺りは水仙の甘い香りが軽やかに漂います。岬の突端には白亜の爪木崎灯台が建ち、その目の前には太平洋が広がります。期間中は会場で地場産品の販売や、郷土料理が楽しめます。早春の下田を感じてください。



08
花
FLOWER

季節の花々が 下田の表情を変える

温暖な気候の下田では、季節ごとに美しい花々を楽しむことができます。早春を告げる水仙からはじまり、桜、花桃、あじさいと続き、夏にはハマボウ、ハマユウ、秋にはリトルエンジェル、冬には椿、アロエの花が咲きます。訪れる季節により、下田の景色も変わりますので、合わせてお楽しみください。



あじさい祭

【期間】毎年 6/1~6/30

下田市街と下田港を一望できる下田公園。その広大な敷地を埋め尽くす300万輪のあじさいは、訪れた人を圧倒するほどの迫力です。あじさいといっても、その種類は多く、「ウズアジサイ」「日向テマリ」「伊豆の華」「カンワバアジサイ」「アナベル」「紅」など、100種以上を見ることができます。園内を巡る遊歩道に延々と続く大輪の花は、ひとときの安らぎをもたらしてくれます。



他にもいっぱい
花の街・下田の
花スポットご紹介
花の2大イベントとなっている「あじさい祭」と「水仙まつり」。その他、下田には四季折々の花々が季節を彩ります。詳細ページで紹介していますのでご覧ください。



◀◀ P24 花スポット紹介

まだまだ魅力いっぱい！ 下田のおすすめスポット紹介

10のビーチからお好きなビーチをお選びください

① 白浜中央海岸

白浜海岸の最北に位置し、磯遊びなどをする家族連れも目立つ静かなビーチ。海水浴場開設期間中は市内のビーチでは唯一バーベキューを楽しめる施設が開業しています。



② 白浜大浜海岸

国道135号線沿いに広がる700mもの白砂が美しいビーチ。全国的にも大変有名で、夏には多くのサーファーや若者でにぎわいます。



③ 外浦海岸

入江にできた遠浅で静かなビーチです。透明度も高く家族連れや女性に人気があります。シーカヤックのメッカともなっています。



④ 九十浜海岸

穴場的な存在のビーチです。波も穏やかでプライベート感覚いっぱい。ファミリーが多く、小さな子供がいても目の届く範囲なので安心です。



⑤ 鍋田浜海岸

街中から近い小さな入江です。遠浅で磯遊びもできるのでファミリー向き。近くには和歌の浦遊歩道があり、海際を歩くことができます。



⑥ 多々戸浜海岸

サーフィンやマリンスポーツをする人たちの間で特に有名なビーチ。ポティボード初級者からベテランサーファーまで幅広い層に人気があります。



⑦ 入田浜海岸

国道からは見えない知る人ぞ知るビーチです。海岸沿いのソテツの木が上品な印象のビーチ。カップルやファミリーにオススメです。



⑧ 吉佐美大浜海岸

ゆったりとした雰囲気外国人観光客にも人気のビーチです。ファミリーやカップルが多く、周辺エリアにはお洒落なカフェがあります。



⑨ 田牛海岸

周辺には民宿が多くファミリーに人気のビーチ。近くにあるサップスキー場やラフパワースポットとしても知られる龍宮窟も一緒に楽しめます。



⑩ 柿崎海岸

令和4年度の夏、25年ぶりに新たな海水浴場を開設。まどが浜遊園公園に隣接しているため、小さなお子様には遊具も楽しめます。また、手漕ぎボートのレンタルや、バリアフリーにも対応しています。



四季折々の花をお楽しみください

⑪ アロエの里

自生していたアロエを地域で手入れをし、アロエの里として遊歩道等を整備しました。青い海と伊豆諸島を背景に咲くキダチアロエの花をお楽しみください。見頃は12月初旬から1月中旬。



⑫ 大賀茂川河口のハマボウ

吉佐美大浜に流れ込む大賀茂川の河口付近に位置するボードウォークの周囲には約500株ものハマボウが自生しています。見頃は7月から8月で、黄色い花が目を楽しませてくれます。



⑬ 本郷公園のソメイヨシノ

下田駅のほど近く、本郷公園周辺の稲生沢川沿いに約730mにわたり約200本の桜並木があります。例年4月上旬の開花時期には提灯が飾られ、暗くなっても幻想的なお花見を楽しめます。



⑭ 了仙寺のアメリカジャスミン

例年5月中旬から下旬に了仙寺の境内で1000株以上のアメリカジャスミンが花を咲かせます。花ははじめは紫色で、やがて白色へと変化していくため2色の花が咲いているようにも見えます。



⑮ 寝姿山自然公園リトルエンジェル

遊歩道沿いに約800株が植栽されています。白と青紫の花が咲き進むにつれ、ピンク、赤紫へと変化していくことからサンショクノボタンとも呼ばれます。見頃は10月下旬から12月上旬。



⑯ 報本寺 枝垂れ桜

報本寺の前庭にはある推定樹齢200年の大きな枝垂れ桜。高さ約15m、枝張り約20mにもなるこの桜は市の天然記念物にも指定されていて、例年4月上旬の見頃の時期には多くのお花見客が訪れます。



⑰ 深根城址の枝垂れ桜

下田市指定文化財である深根城跡には推定樹齢160年の枝垂れ桜があります。例年4月上旬に見事に咲き誇ります。個人宅となりますので駐車や見学時間等のご配慮をお願いします。



⑰ しだれ桃の里の枝垂れ花桃

40年程前から種を植え始め、今では敷地全体にその華やかな木々が広がり、例年3月下旬から4月上旬は多くのお花見客が訪れます。個人宅となりますので駐車や見学時間等のご配慮をお願いします。



⑱ お吉ヶ淵のお吉桜

お吉桜は早咲きの大島桜の系統で、1920年代に発見され、1973年に命名されました。見頃は3月中旬から4月上旬。現在はお吉ヶ淵の他、箕作にも現存しています。



⑳ 下田公園の椿園

下田港を望む後北条氏の城跡でもある下田公園。その園内には161種、5,000本の椿が色とりどりに花を咲かせる椿園があります。見頃は12月から3月までと長く、楽しませてくれます。



㉑ 田牛のはまゆう

田牛サップスキー場で、エメラルドグリーンの海をバックに白いはまゆうの花が自生しています。田牛のはまゆう自生地は、静岡県天然記念物にも指定されています。見頃は7月下旬から8月中旬。



㉒ 広台寺のしゃくなげ

広台寺の裏山に約10種300本のしゃくなげが群生しています。例年の開花は4月中旬頃。ひっそりと静かな空間が白や赤、ピンク色の花の色鮮やかさを際立たせます。



見る、知る、味わう。通な下田をお楽しみください

㉓ 欠乏所跡

日米和親条約締結後下田条約により、事実上の貿易が開始され、この場所で航海上必要な薪・食料・石炭等や、漆器・織物・陶磁器・雑貨までが売り渡されました。現在は石碑が建っています。



㉔ 稲田寺

山門に入って右側の阿弥陀堂には、下田市指定文化財「阿弥陀如来坐像」が安置され、左側には安政の東海地震後の大津波で犠牲となった方々を供養する津なみ塚が建立されています。



㉕ ひもの横丁

街中の港近くで干物店が点在するエリアです。晴れた日の午前中には、アジやイカなどを天日干しする姿を見ることができます。港町下田を象徴する風景です。



㉖ 旧澤村邸

大正4年(1915)に建てられた白と黒のコントラストが美しいなまこ壁の古民家。無料休憩スペースと蔵を改装したギャラリーが一般開放されています。



㉗ 下田公園

町を見下ろす小高い丘の上にある自然公園。園内の各所にある展望台からは変化に富んだ風景をご覧いただけます。静寂に包まれた園内は散歩コースとして、地元でも人気の高いスポットです。



㉘ 開国記念碑

昭和28年に下田開港百年を記念し建立された碑です。題字は時の内閣総理大臣・吉田茂によるもの。碑にはペリーとハリスの文を記したレリーフが配られています。



㉙ 下田達磨大師

400有余年前に開かれた曹洞宗の古刹です。商売繁昌、家内安全、交通安全、学業成就、厄除開運、金運招福等の願を叶える「幸運の達磨大使」として崇められ、厚い信仰的となっています。



㉚ 白浜神社

2400年の歴史を持つ伊豆最古の宮として知られます。御祭神は伊古奈比咩命、三嶋大明神、見目、若宮、剣の御子の五柱の神様です。境内には樹齢2000年の巨木がそびえます。



㉛ 尾ヶ崎ウィング

国道135号線から車で下田に入る玄関口にある展望台です。駐車場からは太平洋の180度パノラマが広がります。天気の良い日は伊豆七島も見えます。

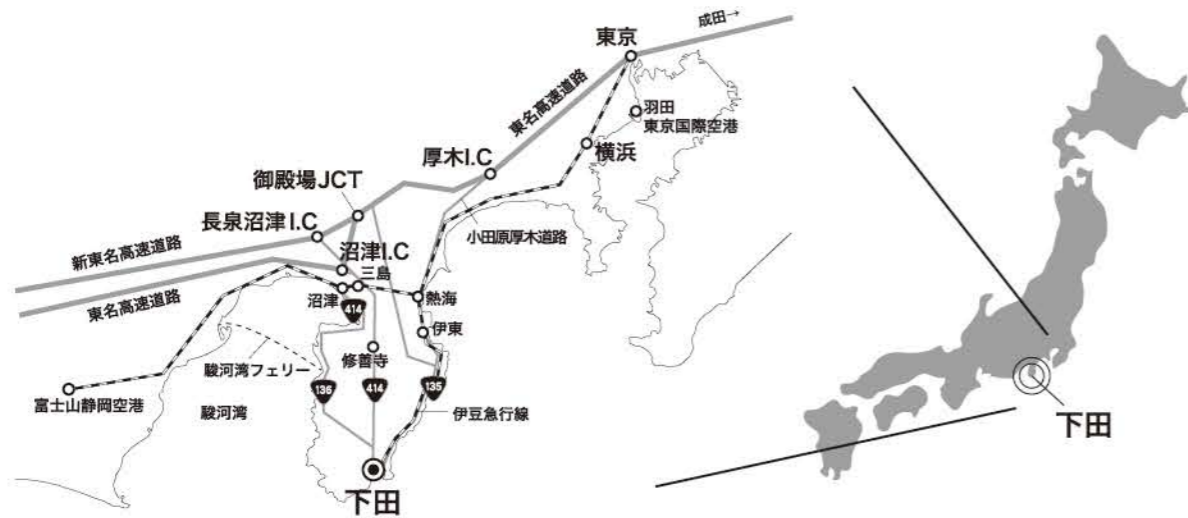


㉜ 須崎小白浜

須崎半島の南にある漁村。漁船が多く並び、昔ながらの漁村の風景が広がっています。近くには海の安全や五穀豊穡を祈願して、三十三観音が安置されています。



下田までのアクセスをご確認ください



個性豊かな電車で下田までの時間をお楽しみください



リゾート 21「キンメ電車」

伊豆を代表する特産品、金目鯛をイメージした赤色の列車です。号車ごとに伊豆急行線沿線市町を割り振り、金目鯛をはじめとする特産品PR装飾が施されています。2号車は下田市の装飾です。



リゾート 21「黒船電車」

「リゾート 21」は、展望席や海側を向いたパノラマシートを配置した電車で、東伊豆海岸線の風景をゆったりと楽しめます。「黒船電車」は、下田に來航した黒船に見立てて塗装した全国でも珍しい黒色の列車です。



ザ・ロイヤルエクスプレス

「美しさ、煌めく旅」をコンセプトとした8両編成の観光列車です。人気のクルーズトレイン「なつ星 in 九州」と同じく、水戸岡鋭治氏がデザインした至高の空間で贅沢な時間をお楽しみください。



サフィール踊り子

2020年3月に運行を開始したJR東日本の観光特急列車です。くつろぎの空間を感じられる「プレミアムグリーン」や、友人や家族とゆったりとした時間を過ごせる「グリーン個室」で移動中も優雅にお過ごしいただけます。また、カフェテリアでは伊豆への旅を彩る有名シェフ監修のメニューもご用意しています。

下田観光に役立つサービスをご利用ください



パンフレット配布中!

し〜もん

道の駅 開国下田みなどの2階に窓口を持つ、自然体験案内所です。ご希望の体験・観光プランを無料でご案内しています。年中無休でオープンしていますので、お気軽にお立ち寄りください。公式サイトやfacebookでも最新プログラムを紹介しています。



下田ガイドマップ

下田で「食べる」「遊ぶ」「買う」などの情報満載のマップです。お店によって、嬉しいサービスもつくので下田観光の必須アイテムとしてお持ちください。下田市観光協会、下田市観光協会駅前案内所、伊豆急下田駅、下田市内各施設、下田市内各宿泊施設などで配布しています。



下田30カラーズ

歴史や食、海、花など、魅力いっぱいの下田を、30種類のカラフルなリーフレットに表現しました。気に入ったジャンルを選んで、自分好みの観光を楽しんでください。下田市観光協会、下田市観光協会駅前案内所、下田市内各施設などで配布しています。

33 爪木崎海岸

全国でも有数の景勝地として知られる爪木崎。近くには御用邸もあります。白亜の灯台が立ち、依頼と呼ばれる柱状節理の断崖など見事な海岸風景です。また、冬の野水仙の大群落も有名です。



34 爪木崎灯台

爪木崎の先端にある白亜の灯台です。そびえ立つ灯台の先からは太平洋の大海原が見えます。日本ロマンチスト協会&日本財団による「恋する灯台プロジェクト」から恋する灯台認定されています。



35 須崎爪木崎遊歩道

須崎半島南端の須崎漁港から爪木崎までの遊歩道。伊豆諸島の浮かぶ太平洋の絶景をご覧いただけるコースです。潮風を浴びながら、雄大な海の景色をお楽しみください。



36 爪木崎花園

園内ではチューリップ、パンジー、アネモネなど四季折々の美しい花を咲かせます。花園の横には温室があり、バナナ、パパイヤ、プーゲンビアなど多数の熱帯植物が繁っています。



37 柿崎弁天島

下田湾に突き出た小さな島。公園となっていて、芝生エリアや海を眺められるベンチも設置されています。黒船密航を試みた幕末の志士、吉田松陰と金子重輔の像が立っています。



38 ハリスの小径

日本初の米国総領事となったハリス。下田滞在中に散歩をしていたというエピソードから、滞在していた玉泉寺近くのこの遊歩道を「ハリスの小径」と名付けました。



39 まどが浜海遊公園

下田港に面した公園は、大きな芝生広場や足湯、人工磯など港を見ながらゆっくりしたい方にオススメです。お子様向けには複合遊具で楽しく遊ぶことができます。



40 道の駅 開国下田みなと

新鮮な魚介類を使ったお食事や、下田ならではの土産など各種取り揃えています。観光案内所では観光案内、宿泊案内、各種割引券もありますので、下田観光の前にお立ち寄りください。



41 ハーバー&カジキミュージアム

下田の成り立ち、歴史や自然を映像、復元模型で詳しく紹介しています。併設されるJGFAかじきミュージアムでは毎年下田で開催されるカジキ釣り大会の歴史などを映像で紹介しています。



42 伊豆漁協下田魚市場

道の駅の目の前にある魚市場。早朝から水揚げが始まります。主に、金目鯛をメインに取り扱われ、活気のある市場です。



43 ベイサイドプロムナード

海岸に沿って舗装された遊歩道は海の間際を潮風に吹かれながら歩ける散歩コースです。途中、吊り橋や下田海中水族館、ベンチが数カ所あり、のんびり散歩するのにオススメです。



44 和歌の浦遊歩道

「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で2つ星を獲得した約2.5kmの遊歩道で、変化に富んだ景色を楽しめます。



45 蓮台寺 湯の華小径

開湯より300年。温泉情緒漂う石畳の小径には、温泉が湧き出るスポットや吉田松陰ゆかりの史跡「吉田松陰寓居処」、雰囲気ある古民家が並び、下田の奥座敷として静かな時が流れています。



46 吉田松陰寓居処

幕末、ペリー艦隊の黒船に乗船し海外渡航を企てた吉田松陰が数日間寄居した場所です。静岡県指定文化財となっていて、内部を見学することができます。



47 天神神社 大日如来坐像

国の重要文化財となっている仏像。穏やかな丸顔に平安の面影を残す鎌倉時代の仏像で、伊豆を代表する名品。天神神社拝殿左手の収蔵庫で期間限定で拝観可です。



48 天神神社 雛壇飾り

「蓮台寺しだれ桃の里まつり」がしだれ桃の開花に合わせて毎年3月下旬～4月上旬に開催されます。期間中は、国指定重要文化財の「大日如来坐像」をまつる天神神社の118段の階段に雛壇飾りが飾られます。※設置日についてはご確認ください。



49 長谷寺 阿弥陀如来坐像

国の重要文化財となっている仏像。浅く彫られた衣のひだや、伏目がちで穏やかな表情は、11世紀に活躍した大仏師・定朝の作風をうつしたものの。寺主に許可の上、拝観可能です。



50 タライ岬遊歩道

下田の南端・田牛海岸より、南伊豆町くへ浜までの遊歩道。変化に富んだ海岸地形を見ながら海際を歩くことができます。写真は三日月の大河。隣の遠国島には源頼朝にちなんだ伝説があります。

